

(有) アップワーク 環境 行 動 計 画

平成 22 年 11 月 22 日

取 組 方 針

(有) アップワークは、『間伐製品性能の向上が、間伐材消費の拡大・環境負荷の軽減になる。』ことを念頭に、顧客ニーズにあったフェンスやベンチなどの間伐材製品を開発・製造しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 工事部門の車両燃料節約
- ④ 廃棄物リサイクル分別の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 22 年 11 月 22 日

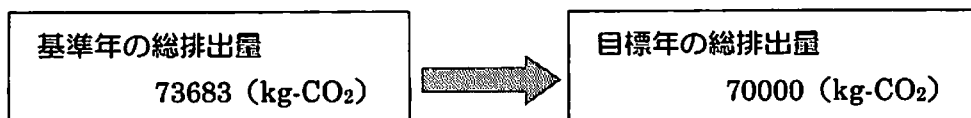
(有)アップワーク

代表取締役社長 油谷 忠克

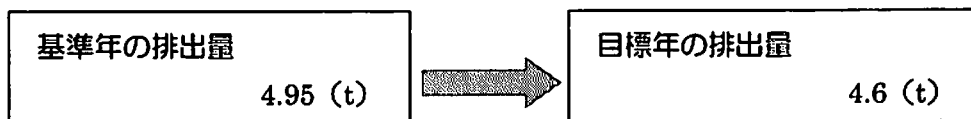
3 環境負荷の低減目標

25 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 22 年です。）

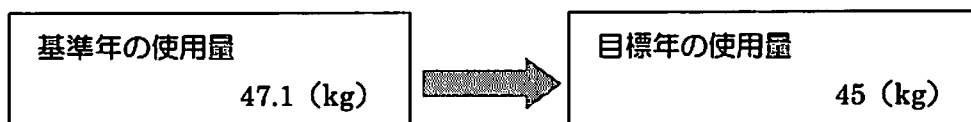
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 5%削減する



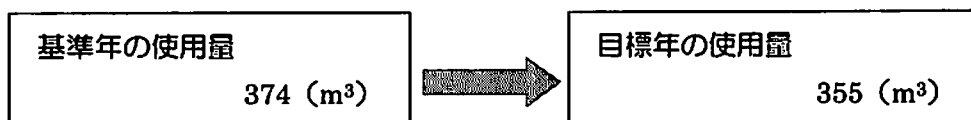
【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 8%削減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量を 4%削減する



【目標 4】 水使用量を 5%削減する



【目標 5】 廃棄物リサイクル分別を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

（現場取り組み）

- ・ 作業効率の向上で残業時間を減少させる
- ・ 休み時間・昼休の重機のストップ

（事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ アイドリングの防止とふんわりアクセルの徹底
- ・ 着用衣服の効率化でエアコンを節約する
- ・ 社用車の相乗りを徹底する。

【取組 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする

- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、管理する
- ・ 軍手は再利用できるようにする

（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 その他の取組

- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型重機は夜間・休日は使用しない
- ・ 社員による呼びかけで日頃から環境保全意識を高める。

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。